神戸常盤大学同窓会誌
ときわびと
2013
No.28

会長挨拶

神戸常盤大学同窓会会長
佐々木 千佳子(M2)

15代目会長として2期4年目も残すところ僅かとなってまいりました。名簿整備と機関誌の発行、ホームページの刷新等を主たる事業に掲げて参りました。大学の4年制へ移行と改組に伴い同窓会もそれに見合う組織づくりが必要と考え、大学との協働体制の構築を目指してきました。

先ず文書管理規程の作成から着手、平成23年の総会で承認を受けることができました。その後資料の保存方法について協議し、文書保管とデータ保管のダブルで行うことに致しました。文書の保存は今だけの問題ではなく、将来のことも考慮しなければなりません。そこでスカイドライブに一時保管し、その文書をどのように活用すればよいか検討することにしました。現在、総会資料・機関誌・国際交流の研修報告のデータベース化をすすめているところです。

「名簿整備」は現状把握と改善案を出すのに半年を要しました。当初は全役員で学科別に行ってみましたが、片手間ではとてもできないものでした。事務局が中心になって照合や不具合の有無等の確認を行い、やっと学籍番号を連結することができ、現在十数名の確認を残すのみとなりました。しかしまだ、年度により入会登録者が数名の学科があります。この件も今回の機関誌発送を期に改善したいと考えています。お陰様で当初5,524名の登録会員数は平成25年3月末現在で7,292名になりました。これまで一人で頑張って来られた本上副会長(M12)に敬意を表しますとともに、ご協力戴いた大学の事務局教務課の方々にも感謝申し上げます。

また、1997年にはじまった国際交流事業は今年で17年目になります。2002年には実施主体を大学のTEC(エクステンションセンター)に、2008年には所管を大学研究協力課に移管しています。ネパール派遣した研修生は40名、同窓会役員・同行者は28名になりました。研修報告書も一部は機関誌に掲載されていますが、機関誌だけでは限りがあります。ホームページに掲載し、会員のみなさんに何時でも見て戴けるよう準備中です。

一方、支部活動や大学との協働体制の構築はまだまだ努力しなければなりません。会員の皆様にもっと大学に足をお運び戴けるよう、母校の現状発信や会員間の親睦の支援等に加えて皆様からのご意見もお寄せいただきたいと思います。

さて、スタッフの協力により同窓会組織の再構築を進めて参りましたが、新たな課題もでています。社会情勢の影響から会議のあり方ひいては同窓会活動の在り方等、方向転換をすべき時期にきているように思われます。今後は新しい知識と知恵で同窓会活動を発展させることにより、大学にも寄与できるものと思います。今後とも同窓会活動にご協力とご支援をお願い致します。

■ 平成24年度 国家試験合格率

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
臨床検査技師	84(65)	69(60)	82.1%(92.3%)	77.2%(75.4%)
看護師	73(75)	70(69)	95.9%(92.0%)	94.1%(90.1%)
看護師 通信課程	167(214)	125(184)	74.9%(85.9%)	78.7%(90.1%)
歯科衛生士	71(54)	70(54)	98.6%(100%)	96.2%(95.8%)

■ 平成24年度 就職状況(H24.3.29現在)

	卒業数	就職希望者	内定者数	内定率
医療検査学科	84(65)	84(64)	73(64)	86.9%(100%)
看護学科	75(75)	73(74)	73(74)	100%(100%)
口腔保健学科	71(54)	71(54)	66(53)	93.0%(98.1%)
幼児教育学科	87(96)	86(89)	86(89)	100%(100%)

(　)内は23年度実績

キャンパスレポート

同窓生の皆さんへ

神戸常盤大学理事長　旭　次郎

春を迎え、学園キャンパスも春の花々に色採られる中、今年もまた希望に溢れた多くの新入生を受け入れることが出来ました。前年度には幼児教育学科が四年制の教育学部こども教育学科に改組し新たな歩みを始め、更に小学校教諭免許を取得出来ることになりました。それにともない新たな学舎（光成前学長の命名による「斉放館」）と、ビオトープが増築されました。本学の建学の精神である実学への道、職業人として生きる道を更に深め、地方の小規模な大学ではありながら特色を持った輝いた大学を目指し着実な歩みを続けています。大学冬の時代と言われて久しく、多くの大学が学生を確保するのに腐心する中、本学では教職員の協力により大いに健闘しています。

この度、同窓会より大学の最近のトピックス、現状についての原稿依頼がありましたので特筆されるものを思いつくままに課題に答えるべく列挙させて頂くことにします。

医療検査学科においては検査技師養成が指定校制になり、本学が第一号の指定校に指定され、全国技師会の研修が本学においてなされました。看護学科においても私立看護系大学の全国研修が行なわれ、また看護師国試合格数は通信制課程を含めると全国一となりました。口腔保健学科では開設以来、国試合格率100%を継続中であります。これらのことが相まって、理系大学就職率において近畿で10位に、全国545大学中58位にランクインされております。また文科省の「私立大学教育活性化設備事業COC部門」においては大規模大学を押えて兵庫県では唯一採択されました。そして地域とともに歩む大学として毎年行なうトキワ健康フェア、大震災追悼イベント、学生による防災減災企画、長田区との連携による小学校幼稚園への保健指導、災害被災地へのボランティア活動等が認められ、大学地域貢献度ランキングでは全国第5位にランクインされました。このように本学は個性を持って力強く歩んでおります。

ときわびとの皆様方の母校へのご支援ご協力を今後ともよろしくお願いします。

新学舎：斉放館

平成24年度大学トピックス

5月

◆口腔保健学科3年の森みずきさんが、長田警察署協議会委員に選出されました。

◆地域住民の方々に対し、救命意識の啓発並びに向上と「人命救助に資する」ことを目的に大学よりAED（自動体外式除細動器）を、水笠通公園へ寄贈されました。

6月

◆本学看護学科長の鎌田美智子先生が、優良看護職員の厚生労働大臣表彰を受章されました。長年にわたり看護業務と看護師養成に尽力し、地域社会の保健福祉のみならず、教育の分野でも貢献したことが認められたものです。

◆学生による「防災・減災教育を通した世代間交流」活動が長田区地域づくり活動助成に採択されました。

◆6月29日−30日医療検査学科3年の原瑞季さんが韓国のソウル市で開催された第50回大韓病理士学会での韓日学生フォーラムにおいて日本代表の学生として口演発表を行いました。

8 月

◆東日本大震災被災地にて、「“がんばろう石巻”こどもフェスタ」を行いました。8月10日の朝、神戸を出発し、その日は仙台にて宿泊。11日は石巻中学校にて『石巻こどもフェスタ』を開催。東日本大震災継続支援ボランティア活動に対して、H25年2月赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」から助成を受けることが決定しました。

◆8月29日神戸常盤ボランティアセンターは、災害支援ボランティアとして、8月14日の豪雨災害の被災地である京都府宇治市に教職員・学生、計12名を派遣し被災家屋の泥かき、後片付けなどのお手伝いをしました。

石巻でのボランティア活動の様子

10 月

◆10月28日いつもお世話になっている地域の皆さんに、1日楽しんでいただけるイベントを!と言うことで、本年も学園を挙げて「TOKIWA健康フェア2012」が開催されました。大学の各学科の特色を活かした健康チェックや歯のフッ素塗布、子どもたちのためのキッズごっこランド、ボランティアセンターによる食べ物屋台、その他にも、今年は長田消防署や長田警察の皆様のご協力により、消防車と白バイの展示・写真撮影会も行っていただきました。

◆平成24年度文部科学省の『私立大学教育研究活性化設備整備事業』に、本学の【ワイガヤで創る!『エバーグリーンシナジープロジェクト』の構築】が採択されました。
この取組みは、本学の7つのセンターを通して学生が主体的に地域活動に参加し、協働で問題解決や地域再生に寄与することを目的としたキャリア教育プログラムである。このような活動を通じて神戸常盤大学は、地域のC.O.C(Center of Community)を目指していきます。

▼ 関連ページへのリンク
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1323178.htm

11 月

◆こども教育学科の瀬川教授が、長田警察署の歌「明日への道」を作曲されました。

◆兵庫県健康福祉部こども局少子対策課の事業である「まちの寺子屋師範塾」を開催しました。

◆11月24日と25日は学園祭が開催されました。

12 月

◆日本経済新聞社産業地域研究所が全国733の国公私立大学の「地域貢献度」を調査しました。本学は総合で165位、看護福祉系に限った62大学中では5位にランクインしました。
本学が平素より力を入れて取り組んでいる「地域との交流」や「行政との包括的な連携」をはじめ、「ボランティア活動」や「TEC(神戸常盤エクステンションセンター)の公開講座」などの実績がランキング上位に繋がりました。

◆1月17日 神戸常盤ボランティアセンターは新長田駅前にて開催された「1.17KOBEに灯りをinながた」に学生・生徒・教職員総勢55名で参加。常盤女子高の生徒による募金活動と神戸常盤大の学生・女子高の生徒による豚汁の炊き出しを行いました。

3 月

◆保健科学部医療検査学科の栗岡誠司准教授が、「新聞連載とサイエンスショーを通じての化学コミュニケーションの実践」という業績で日本化学連合の「化学コミュニケーション賞」を受賞されました

(事務局長　西田 光輝:記)

ネパール研修報告

平成24年も、ネパール研修に神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、神戸常盤女子高校から計7名の学生・生徒が旅立ちました。

日　程：平成24年12月22日（土）～平成24年12月29日

ネパール研修に参加して

M科3期生　鷲野 みはる

今回のホストでネパリ（ネパール人）かつ神戸常盤大学客員教授であるライ先生側のプログラムに添ってカトマンズにある二ヶ所の病院、二ヶ所の専門学校などを見学・交流し、ホストファミリーの皆様の心温かいサポートを受け、神戸常盤の後輩たちと共に貴重な経験と見識を深めることができました。

ネパール人罹患トップ5が皮膚疾患、急性呼吸感染症、寄生虫、下痢を伴う不明熱、胃炎、ということもあって、訪れた警察病院の検査部門は直接塗沫法による寄生虫検査が日常的で、血液検査室は初期の血球計算器と単眼顕微鏡があるだけ、細菌検査室はふ卵器があるものの殆んど何もなく、日本でも病院の規模・地域により格差があるので単純比較は難しいですが、30～40年以上前の日本の検査室を彷彿させる状況でした。次に見学したJICA支援のトリブバン大学附属病院は病理検査に重点がおかれているようで、ミクロトーム、自動包埋装置、各種染色法など日本の中規模病院と遜色ないものの、他の検査室の機器や検査項目等は充実しているとは言い難く、先の警察病院と同様に、特にベッド・寝具はかつて見たことのない古さで、まさに悲惨そのものでとても心が痛みました。帰国後、廃棄される日本のベッドを綺麗にしてネパールへ送る方法はないものか考えています。

ネパールの建物・道路・交通状態No Ruleなどすべてが私にはストレンジであったし、多くのカルチャーショックを受けましたが、中でも技術系専門学校の実験室は500mlの試薬瓶多数と日本ではすでに殆んど使われていないであろう少しの器具があるのみで、その光景には失礼ながらも今もって涙が出そうになります。ネパールの医療や教育機関は開発途上に違いありませんが、私が出会った学生・子供達の素晴らしい英語力にびっくり感心しました。日本がネパールに学ぶべき点かと思われます。

ネパール研修に同行して

P科2期生　幅多 陽子

今回の研修旅行のメンバー構成は、学生が大学生6名、高校生1名の計7名、教職員5名、同窓会から2名の総勢14名でした。トリブバン国際空港に着くなり、まともなトイレが無かったり、空港から一歩出た途端に日本では見られないような古く壊れかけた車が無秩序に並んでいたりする状態等を目にした途端に、世界の状況に対する見識の乏しい私はカルチャーショックを受けました。

首都カトマンドゥでの一番の印象は砂埃がひどいことと人・車・バイクが溢れていることでした。インフラの整備が遅れていることも併せて健康的な生活が保てないだろうと思いました。空気が汚れているのは乾期であったこと、町の至る所で道路の工事が続いている状態であること、そして車の性能の悪さからの排気ガスによるものであり、その上に盆地という地理的特徴からくるもののようです。

交流を支援する同窓会から参加し今回の研修を見届けて、学生の皆さんが医療現場や学校現場の見学、医学生達との交流を通してこの国の現状を知り、何よりもホームステイで生活を知り交流を深めて、視野を広げられたことにこの研修の意義を感じました。

同窓会の一員としては、神戸常盤・シバクチの両学生と共に受けたライ教授の講義において、神戸常盤大学とハチガンダ福祉協会との関係の成り立ちなどを理解することができ、また、病院の見学の際にこれまでの交流でネパールの医療の向上に貢献されてきた実績も知ることができました。学生の交換研修も含めて、このシステムを作り継続して来られた同窓生でもある小野教授はもとより、これまでに関わられた方々のご努力に敬意を表したいと改めて思いました。そして一日本人として発展途上国の様々な面での状況を知る機会になりました。

支部だより

中国支部　支部長　酒井 啓子(M2)

衛生技術科卒2期生の酒井啓子です。定年過ぎて頑張り過ぎるなと言われつつ、まだ現役で頑張っています。引き際を考えながら…。

NHKの連続テレビ小説「てっぱん」の舞台となった、広島県尾道市に、私が勤務する医療法人社団啓卯会　村上記念病院があります。許可病床数52床（そのうち10床が亜急性期）の個人病院です。私は昭和58年4月から勤務しているので、この4月で丸30年になります。昨年社団法人広島県病院協会から「永年勤続」の表彰状を頂きました。

30代後半の頃は自分に合った別の職業があるのではないかと、真剣に悩んだ事もありましたが、仕事に子育てにと忙しくしているうちに、アッという間に40代も過ぎていきました。

第1回糖尿病療養指導士の試験に合格したことは、私に大きな変化をもたらしました。当時検査技師は一人しかいなかったので、生理検査は看護師さんで、患者さんに接することはほとんどありませんでした。しかし糖尿病療養指導士資格取得後は入院患者さんへの糖尿病教育や、糖尿病教室講師、自己血糖測定の指導など患者さんに関わる時間が増えてきました。日本糖尿病協会広島県支部「しまなみ会」のホテルでのヘルシーメニューを楽しむ会（今年は3月17日開催）への協力や「しまなみ会報」発行。「しまなみ会報」は2か月に一度の発行ですが、80号を突破しました。検査技師も4名になり、生理検査の種類も増えました。

広島県東部地区で第1回の神戸常盤短期大学の同窓会が開催されましたが、（2日後、阪神淡路大震災。あの時のショックは忘れられません）同窓会幹事は持ち回りで、昨年末13回目の同窓会を10期生が中心となって開催してくれました。出席者は毎回10人前後ですが、各施設の情報交換など出来、共に元気に集まれたと喜んでいます。周りにこんなにたくさんの同窓生がいると思うととても心強いです。

「ときわびと」を読まれた中国地区の皆さん、是非一度参加してください。

九州支部　支部長　末吉 ひろ子(M2)

早いもので支部長引き受けてから1年。

しかし活動らしい活動せず（出来ず?）申し訳なく思っています。

私は検査関係の仕事ってほとんどしてないので何を書いていいのか…?

専業主婦だった私が今、水道工事の会社で経理事務の仕事をしています。早いもので、もう12年過ぎました。

どの仕事も大変さはいっしょですね。自社は秋から3月はじめが忙しく、特に今年は私事ですが、三人めの孫が生まれ上の子の面倒も見なきゃならず、本当にバタバタの日々です。

早く春がくれば。

ところで先日鹿児島中央駅広場で関西方面の観光キャンペーンをしていました。

神戸、なつかしくってすぐにパンフレットを手にしました。

長いこと神戸を訪れることもなく、新幹線も開通したので行こうと思っているのですが…なかなか実現とはいかず。

しかし、訪れたらうらしまたろう?ここはどこ?って迷子になるかも。変わったでしょうね。

もう春ですね、あちこち出かけたい気分です。

鹿児島にもどうぞ。

西郷どんも待っています。

※支部だより 次項につづく→

支部だより

病と地球環境

北海道支部支部長　宮田　修(M6)

大雪の話題が連発したこのシーズンでしたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。「もう雪はいらない」と何度も思いつつ、除雪と屋根の雪下ろしに明け暮れていましたが、やっと日中の日差しが柔らかくなりました。しかし、我が家の周り中雪の山ですので、より一層残雪の間から春一番に顔をのぞかせ見事に咲き始めるフクジュソウ(福寿草)が待ち遠しくなります。

北海道のほぼ中心に位置するここ旭川市は「大雪山連峰」が一望でき、主峰「旭岳」に続く峰々は神々しく私たちを見下ろしています。先住民であるアイヌの人たちは、この大雪山の雄大で広い山頂からの連なりを「カムイミンタラ(神々の集う庭)」と呼び、豊かな自然と見事に共生していたのです。

私たち和人の入植は明治30年以後に本格的になり、屯田兵(国により派遣された兵役のある開拓農民)や一般入植者により今日の生活基盤の礎が築き上げられました。当然アイヌの人たちは生活のための大地が次々と改変され、なおかつ和人による教育の強制と差別化の中で、その文化が失われてきました。

世界的に「少数民族」の尊厳が重視されだした近年、国内においてもアイヌ民族とその文化の保全のため「アイヌ新法」が制定された経緯があります。

私たちの住む「地球」は、短期間に化石燃料などによる温暖化・大気や海洋汚染、自然環境破壊など等で大変に住み難くなってきました。そればかりか、何も責任のない次の世代にも負の遺産として引き継がなければなりません。

今、「すべての物には神が宿る」とし、自然環境と共存してきたアイヌ民族の知恵に学ぶ必要があると考えます。

私たちは「人体環境の健全化」のため、「医療」を通じて社会貢献してきました。しかし、地球上のすべての生き物にダメージを与え続け、「地球が病んでる」状況に追いやった一員と考えたとき、現状を把握して「早期発見と早期治療」をし、より健全な「地球環境」を次世代に引き継ぎたいものです。

事務局だより

平成25年3月16日に平成24年度神戸常盤大学学位記授与式が行われました。ご卒業の皆様、誠におめでとうございます。そして同窓会には新たに328名の正会員を迎えることができました。

■ 支部別在籍者数　H25.3末現在

支部名	在籍者数(名)
北海道	15
東北・関東	133
中部	190
近畿	6,230
中国	446
四国	205
九州	76
合計	7,295

さて、数年来取り組んでまいりました名簿整備と学籍番号貼付作業がようやく完了しました。とはいえ、機関誌発送の際には転居先不明で返送されるものがゼロにはなりません。住所や勤務先を変更された方は、ホームページやFAXで同窓会へ御一報いただきますようお願いします。

本学同窓生の柳田絵美衣さん(M科34期生)が「サクラ病理技術賞」を受賞され、昨年6月2日(日)に日本臨床細胞学会にて表彰式が執り行われました。これはサクラファインテックジャパン株式会社の独自の褒章制度で、病理学的検査・技術に関する優れた業績に対して表彰されるものです。今後のさらなるご活躍を祈念しております。

10月28日(日)に開催されましたTOKIWA健康フェア2012には、800名以上もの地域のみなさんのご参加があり、同窓会室に来られた130名余りの方々にネパールティーをサービスしました。すっかり地域に根付いた行事となった感があり、今後も同窓会として積極的に大学に協力して行く予定です。

11月24日(土)と25日(日)に学園祭があり、約1,000名の方が常盤に来られました。健康フェア同様、同窓会室で75名の方々にネパールティーを楽しんでいただきました。

大学の行事に多数の近隣の皆さんが参加して下さるのは大変嬉しいことです。同窓会は来年度も大学の行事に積極的に協力していく所存です。同窓生の皆さんも是非遊びに来てください。

事務局長　西田 光輝

同窓会室に本学国際交流センターを設置

この度、大学組織の改革に伴い、エクステンションセンター(TEC)が発展的に解消され、国際交流センターと地域交流センターが誕生しました。これに伴い、7号館1Fフロアの同窓会室を共有することになりました。

国際交流センターは従来のネパール交換研修制度を中心に広く本学の国際交流を推進することになります。センターは学内の委員により構成され、運営されます。現在決定している主な委員は以下の通りです。

センター長　覚道　健一(医療検査学科教授)
副センター長　柳田　潤一郎(医療検査学科講師)
顧問　小野　一男(特任・客員教授)

平成25年度　事業計画（案）

1. 同窓会名簿の整備と機関誌の発行
2. 情報発信の充実
3. 支部活動の活性化
4. 大学との協働体制の構築
5. 大学への支援事業の継続
6. その他

平成24年度 神戸常盤大学 同窓会 収支報告書

1.一般会計

■ 収入の部　　平成25年3月31日

		平成24年度予算	平成24年度決算	差引額	備　考
前年度繰越金		7,909,872	7,909,872	0	
会費収入	同窓会会費	7,200,000	7,218,600	18,600	2万円×355名+通信生12名
	受取利息	5,000	2,809	-2,191	
雑収入		0	127,000	127,000	
収入合計		15,114,872	15,258,281	143,409	

■ 支出の部

		平成24年度予算	平成24年度決算	差引額	備　考
本部費	小　計	4,300,000	3,003,843	1,296,157	
	会議費	300,000	98,628	201,372	御弁当等
	総会費	600,000	135,300	464,700	
	旅費交通費	500,000	259,820	240,180	交通費
	通信運搬費	250,000	126,480	123,520	役員通信経費含む
	印刷製本費	50,000	81,900	-31,900	
	事務消耗品費	100,000	46,490	53,510	事務用品、トナー代等
	交際費	600,000	605,000	-5,000	
	諸謝金	500,000	462,500	37,500	事務局員給与等
	地域福祉活動費	100,000	35,406	64,594	オープンキャンパス・大学祭等
	情報通信網構築費	100,000	91,049	8,951	
	名簿整備費	800,000	785,259	14,741	クラス会助成、ときわびと発行費
	福利慶弔費	100,000	10,000	90,000	弔電等
	備品修繕費	50,000	0	50,000	
	会費返金費	200,000	260,000	-60,000	
	雑費	20,000	6,011	13,989	お茶等
	予備費	30,000	0	30,000	
支部運営費	小　計	500,000	1,265	498,735	
	会議費	20,000	225	19,775	
	旅費交通費	400,000	0	400,000	
	通信運搬費	60,000	1,040	58,960	
	雑費	20,000	0	20,000	
補助事業	小　計	2,200,000	2,148,280	51,720	
	国際交流事業費	1,000,000	948,280	51,720	神戸常盤大学へ(¥500,000)
	地域交流事業費	500,000	500,000	0	神戸常盤大学へ
	育英資金奨励金	500,000	500,000	0	5名
	大学祭補助金	200,000	200,000	0	
積立費	小　計	200,000	200,000	0	
	記念事業積立	100,000	100,000	0	特別会計へ積立
	備品購入積立	100,000	100,000	0	特別会計へ積立
支出合計		7,200,000	5,353,388	1,846,612	

15,258,281−5,353,388=9,904,893
平成25年度へ繰越金　¥9,904,893

平成25年度 神戸常盤大学 同窓会 一般会計予算案

1.一般会計

■ 収入の部　　平成25年4月1日

		平成24年度予算	平成25年度予算	差引額	備　考
前年度繰越金		7,909,872	9,904,893	1,995,021	
会費収入	同窓会会費	7,200,000	7,100,000	-100,000	2万円×通学生+通信生
	受取利息	5,000	8,000	3,000	
雑収入		0	0	0	
収入合計		15,114,872	17,012,893	1,898,021	

■ 支出の部

		平成24年度予算	平成25年度予算	差引額	備　考
本部費	小　計	4,300,000	4,500,000	200,000	
	会議費	300,000	300,000	0	御弁当等
	総会費	600,000	400,000	−200,000	
	旅費交通費	500,000	500,000	0	交通費
	通信運搬費	250,000	250,000	0	役員通信経費含む
	印刷製本費	50,000	100,000	50,000	
	事務消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品、トナー代等
	交際費	600,000	650,000	50,000	
	諸謝金	500,000	600,000	100,000	事務員給与等
	地域福祉活動費	100,000	100,000	0	オープンキャンパス・大学祭等
	情報通信網構築費	100,000	100,000	0	
	名簿整備・機関紙発行費	800,000	900,000	100,000	クラス会助成、ときわびと発行費
	福利慶弔費	100,000	100,000	0	弔電等
	備品修繕費	50,000	50,000	0	
	会費返金費	200,000	300,000	100,000	お茶等
	雑費	20,000	20,000	0	
	予備費	30,000	30,000	0	
支部運営費	小　計	500,000	500,000	0	
	会議費	20,000	20,000	0	
	旅費交通費	400,000	400,000	0	
	通信運搬費	60,000	60,000	0	
	雑費	20,000	20,000	0	
補助事業	小　計	2,200,000	1,700,000	−500,000	
	国際交流事業費	1,000,000	500,000	−500,000	
	地域交流事業費	500,000	500,000	0	
	育英資金奨励金	500,000	500,000	0	
	大学祭補助金	200,000	200,000	0	
積立費	小　計	200,000	400,000	200,000	
	記念事業積立	100,000	200,000	100,000	
	備品購入積立	100,000	200,000	100,000	
定期預金		0	5,000,000	5,000,000	三井住友銀行定期預金へ繰出
支出合計		7,200,000	12,100,000	4,900,000	

平成25年度特別会計等の詳細につきましてはホームページをご参照ください

会員同窓会名簿管理について

同窓会では以前より会員の皆様が安心して情報をお預けいただけるよう、事務局内の機器でのみ情報の管理をさせていただいております。もし会員の皆様が同窓生の情報が必要となった時は、事務局にご一報下さい。事務局より該当の同窓生に情報を求められている会員がいることを伝え、情報を提供して良いかの確認後、提供させていただきます。

最近ではこのような名簿管理が信頼を得、積極的に情報の提供をいただく会員も徐々に増加しておりますので引き続きご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、事務局で管理している情報は皆様が卒業された時点の情報で、それ以後の変更につきましては皆様からの情報提供のみが頼りになっています。昨今の個人情報保護意識の問題もあり、事務局より情報を収集することは困難な状況で、すでに登録された情報については不明になるものが増加する一方です。

卒業後の会員同士の連絡、学内及び同窓会からの情報提供等、会と会員の重要な連絡手段となっておりますので今後も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

会ではホームページ（http://tokiwabito.com/）からの変更や電子メール（dousou@kobe-tokiwa.ac.jp）またはファクシミリ（078-643-4361）により変更のご連絡をお待ちしております。

副会長／情報担当　本上 浩伸

お知らせ

平成25年度神戸常盤大学同窓会総会のご案内

平成25年度の同窓会総会を右記の通り開催致します。会員の皆様にはご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多数ご出席賜りますようご案内申し上げます。

日　時：平成25年6月23日（日）午前11時～
場　所：神戸常盤大学ハローホール

ときわびと1期生の集い」のご案内

この度、下記により3年ぶりに「1期生の集い」を行います。懐かしい皆様、ときわびととの再会と神戸・六甲の夜景を眺めながらの思い出語りを楽しみにしております。

日　時：平成25年6月22日（土）17:00～20:00
場　所：ポートピアホテル 29階 中国レストラン「聚景園」
（078）302-1111（ポートピアホテル）
会　費：10,000 円（通信費を含む）

詳細については別途、往復ハガキでご案内しますが、ご都合をよろしくお願い致します。
問い合わせは　小野（078）994-1883
または　bubsr104@hi-net.zaq.ne.jp　まで
世話人：藤枝 洋子（旧姓：前田）小野 一男

「2期生Aクラス同窓会」のご案内

2期生Aクラスでは2年ぶりの開催となります。（前回は平成23年11月）万障繰り合わせの上、御参加をお願い申し上げます。

日　時：平成25年6月23日（日）午後5時半頃から
場　所：三宮（詳細は別途ご案内）
申　込：下記発起人または、同窓会　078-642-0625
dousou@kobe-tokiwa.ac.jp　まで
締　切：平成25年6月8日（土）

神戸常盤大学同窓会総会と同日の開催です。参加いただける方々には追って場所・会費等の詳細案内を差し上げます。
発起人：佐々木 千佳子・戸嶋 利雄・住 勝実

お願い　機関誌の初版から10版までを探しています。現存する11版から遡ってみますと初版は昭和48年頃かと思われます。どなたかお手元にあれば同窓会に提供していただけませんでしょうか。よろしくお願い致します。

編集後記

別掲しておりますように6月23日に総会を開催する予定です。今年度は総会日程に合わせて期生同窓会も開催されるようで、例年になく多数の総会出席者が見込まれそうです。卒業してから一度も足を運んでいないという方も多いと思いますが、お時間がありましたら新しく立派になった大学を見にいらしてください。

母校の発展とともに卒業生が増えて同窓会が大所帯となるのは大変喜ばしいことでありますが、同時に会のあり方も明確にしておかなければなりません。同窓会総則には1条から3条まであり、その中の第2条に「会員相互の親睦と向上を図り、かつ母校の発展に寄与する。」と活動内容が示されています。母校とともに同窓会も時流に合った形で発展するよう、会員の皆様にもご協力をお願い致します。

（K.N記）

長田区の木「ハナミズキ」（平成15年10月選定）が街路樹として植えられている、区のメインロード長田線（高速長田駅～宮川9丁目交差点）と区役所前道路を、平成17年6月から「ハナミズキシンボルロード」と名づけています。春には、白やピンク、赤の美しい花で、秋には、美しい紅葉で道を行く人々の心を和ませてくれます。

（神戸市長田区ホームページより転載）

〒653-0838 神戸市長田区大谷町2-6-2
神戸常盤大学内
TEL/FAX（078）642-0625
E-Mail：dousou@kobe-tokiwa.ac.jp

同窓会ホームページアドレス
http://www.tokiwabito.com/
神戸常盤大学ホームページアドレス
http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/

発行所／神戸常盤大学同窓会　責任者／佐々木千佳子　2013.3.31（第28号）